

1. 活断層の地表～深部構造および変動地形・地質構造解析

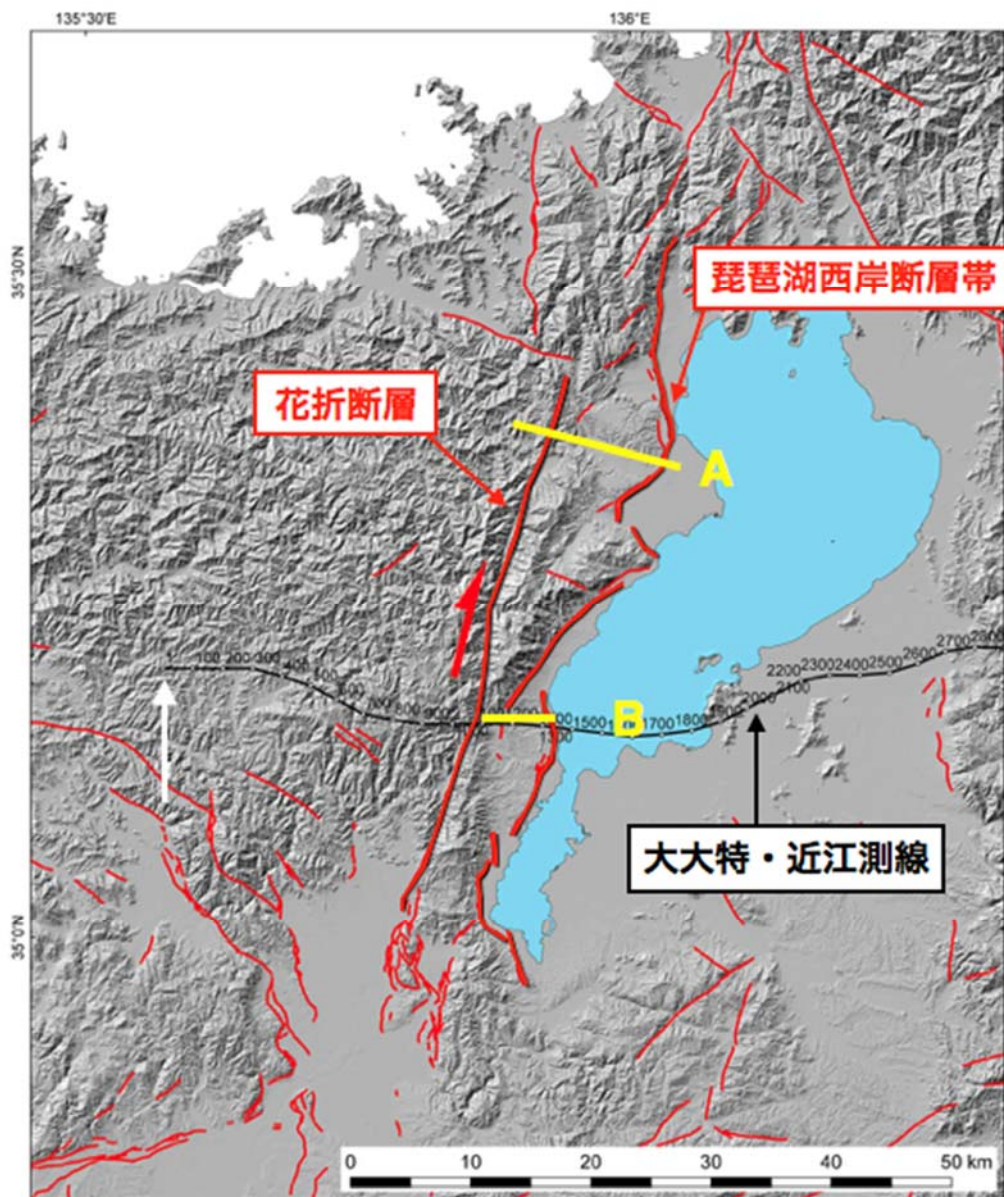


図 琵琶湖西岸断層帯と花折断層の位置図。活断層の位置は中田・今泉編（2002）による。黄色線は今回実施した反射法地震探査測線の概略位置。A: 安曇川測線, B: 和邇川測線。

2. 活断層の稠密重力探査

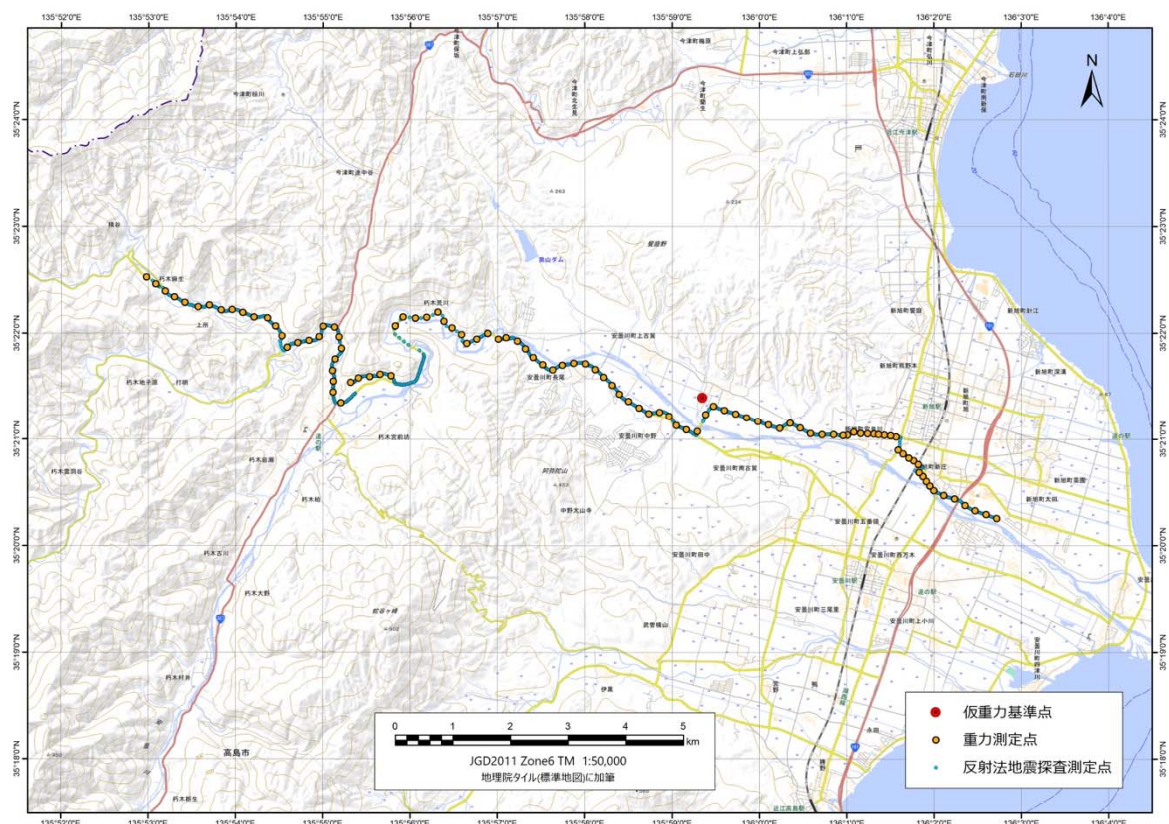


図 琵琶湖西岸断層帯および花折断層を横切る安曇川測線重力測定点位置図。

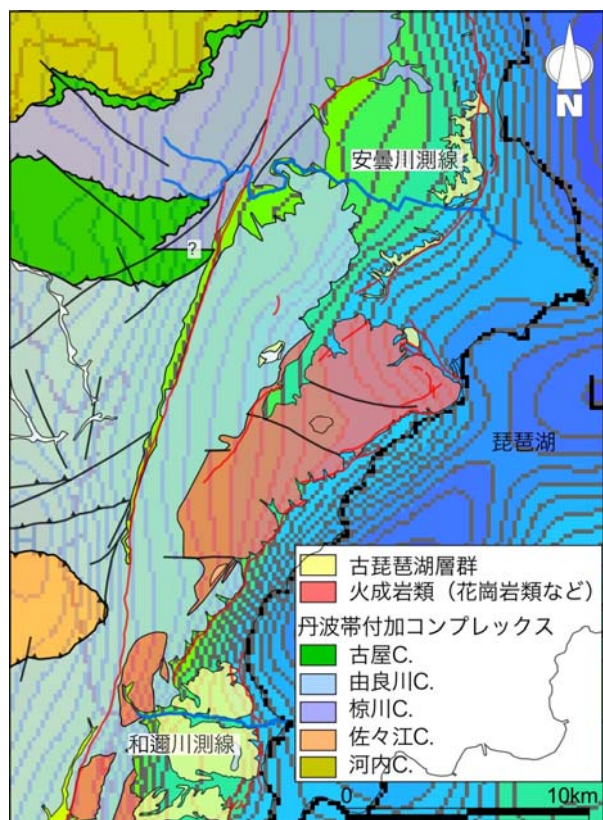


図 安曇川測線周辺の地質および重力異常ブーゲー重力異常は地質調査総合センター(2004)、地質に関する情報は、中江ほか(2001)、石田ほか(1984)、木村ほか(1998)、中江ほか(1998)、木村ほか(2001)、岡田ほか(2008)、宮内ほか(2004)、堤ほか(2004)による。

3. 断層帯の地震波速度構造および地震活動解析

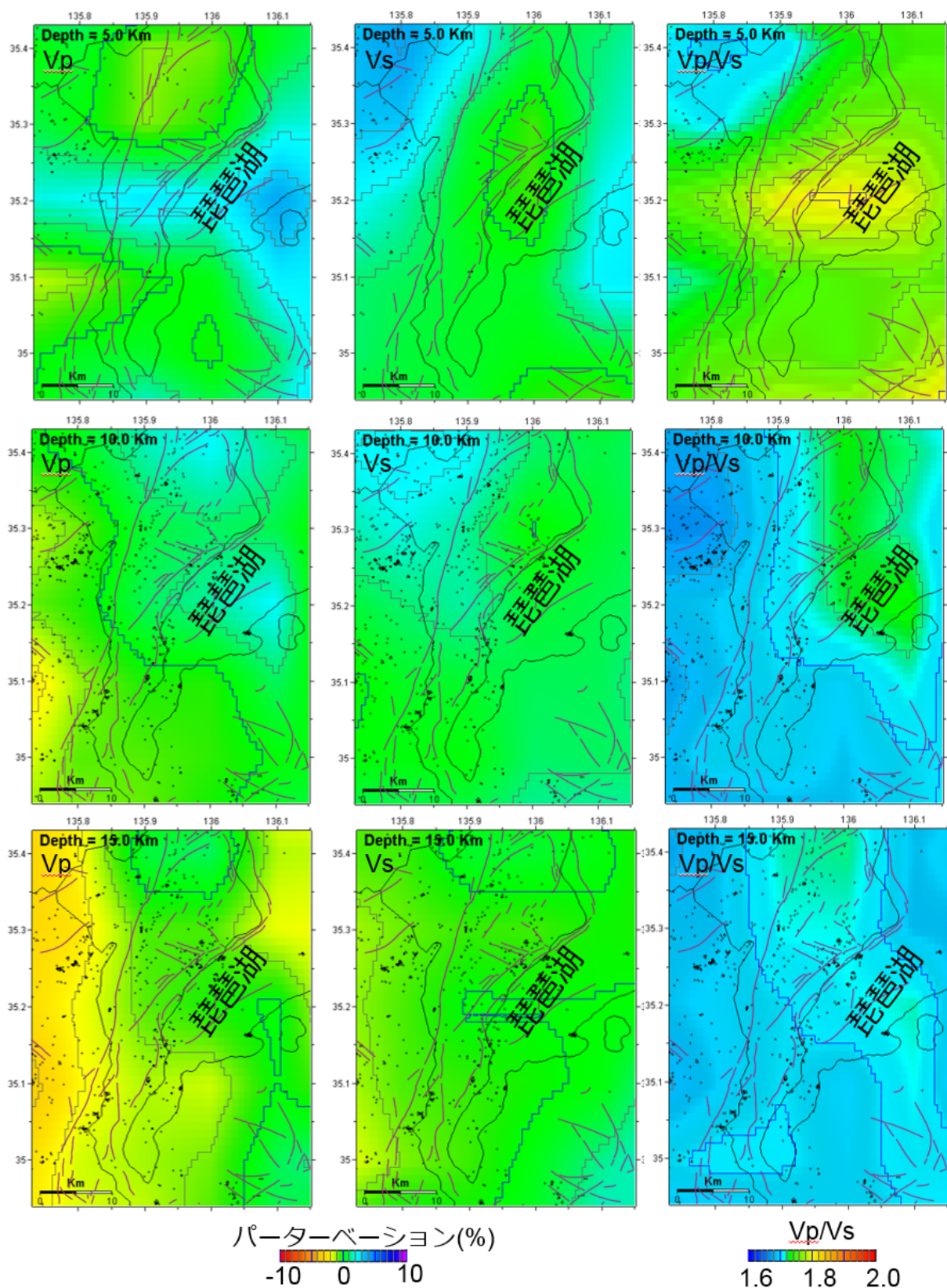


図 深さ 5 km (上)、10 km (中)、15 km (下) における三次元地震波速度構造(Matsubara et al., 2017)と震源分布。P 波速度パーターベーション (左)、S 波速度パーターベーション (中央)、 V_p/V_s (右)。紫の線は活断層の地表トレースを示す。

4. 断層帯周辺の岩石物性に基づく地震発生層推定

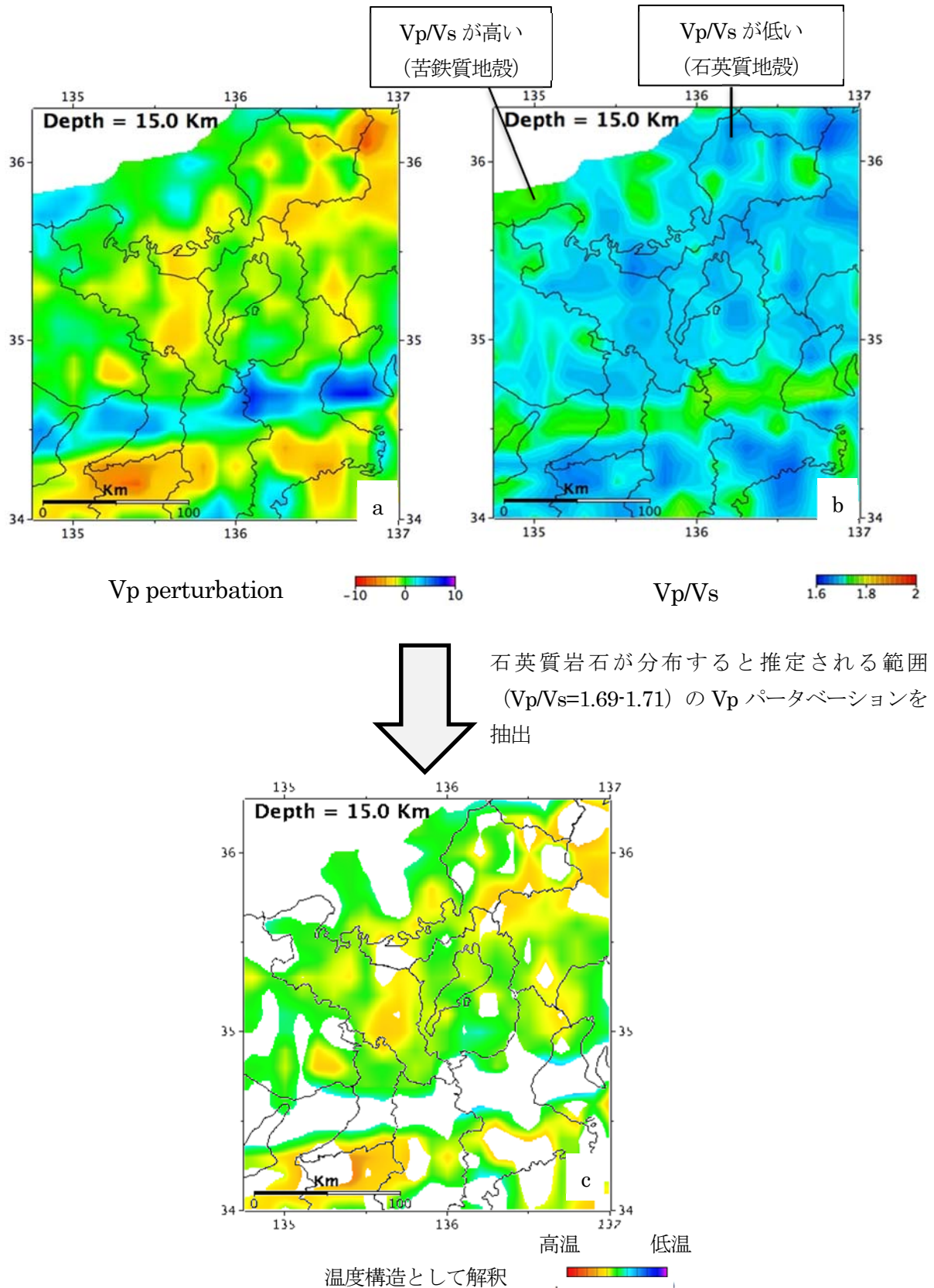


図 地震波速度構造から温度構造を推定。(a)P 波速度パータベーション、(b) V_p/V_s 、(c) 定性的な温度構造。

5. 震源断層モデルの構築と推定手法の検討

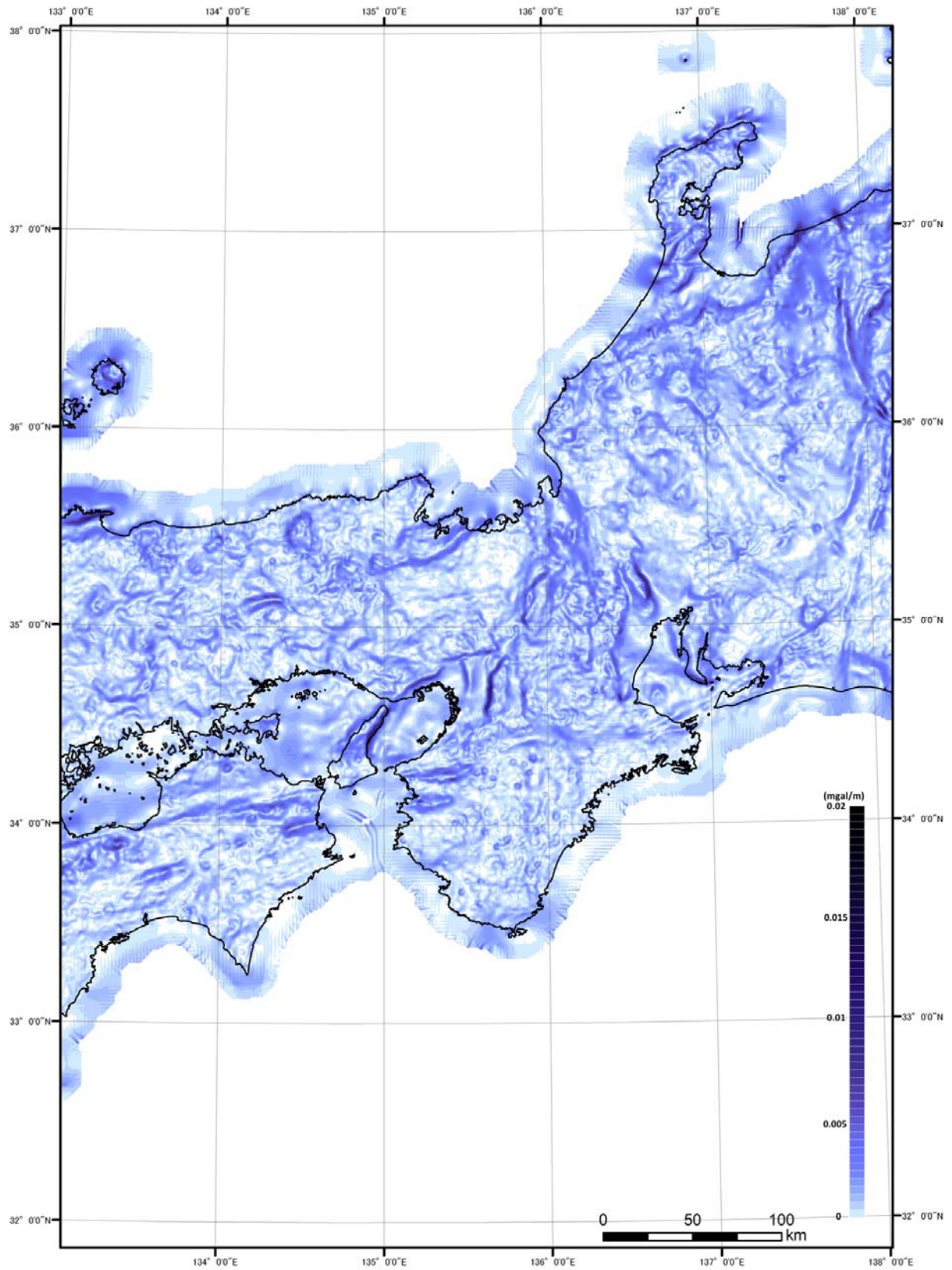


図 近畿地域のブーゲー重力異常値の水平一次微分図。